

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 昭和56年～			
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	02 生きがいのあるまちづくり
	小項目	施策	04 公民館
事務事業名		01	市民センター管理運営事業
根拠法令・例規等		備前市市民センター設置条例 備前市市民センター設置条例施行規則	
問		担当課(室)	中央公民館
答		職・氏名	館長補佐・山口晋作
先		電話	64-1133

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市民センターを利用する人
目的(何のために)	市民の生活、文化及び教養の総合的向上発展のための場所と機会と、福祉の増進に資するための場所と機会の提供を行う。 また、中央公民館・図書館・働く婦人の家・片上公民館の複合施設としての施設を維持管理する。
行政活動(どのような方法で)	貸館業務・公共的な催しの利用・各公民館で実施しているグループ活動の発表の場の提供
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市民センターの利用者数の増加

事業の実績						
活動	実施項目		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	ホール利用回数	回		79	85	82
	ホール利用人数	人		20,271	17,096	19,220
	市民センター年間開館日数	日		302	295	294
	市民センター年間利用日数	日		302	295	294
市民センター年間利用人数	人		60,406	54,994	57,244	
実績	直接事業費	千円		25,493	27,761	26,394
	必要人員人件費	千円	1.50人	9,660	2.12人	15,418
	事業費	千円		35,153	43,179	35,892
	国・県・市・支・出・金	千円		3,610	3,377	3,306
	受・益・者・負・担・金	千円				
総・入・金	千円					
市・債	千円					
そ・の・他	千円					
一	千円		31,543	39,802	32,586	
受・益・者・負・担・比・率	%		10.3%	7.8%	9.2%	

結果指標①					
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	説明
ホール利用人数	人	20,271	17,096	19,220	ホールの利用人数
対前年比	%	-	84.3%	112.4%	
活動コスト	円	6,317,080	7,005,669	7,166,743	
単位当たりコスト	円	312	410	373	
結果指標②					
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	説明
市民センター年間利用者数	人	60,406	54,994	57,244	市民センターの年間利用者数
対前年比	%	-	91.0%	104.1%	
活動コスト	円	25,493,371	27,761,987	26,393,798	
単位当たりコスト	円	422	503	461	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
市民センター利用人数	目標値(A)	60,000	60,000	60,000	60,000
	実績値(B)	60,416	54,994	57,244	到達目標年度
	達成率(B/A)	100.7%	91.7%	95.4%	平成21年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
貸館やグループ活動などで利用した人数					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識	
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	文化活動団体、公民館グループ等が活動の場として利用したり、企画業者の催し物や市関連事業等に利用されている。今後も、利用者が増えるよう広報活動を行う。
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E>
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	判定理由・課題認識
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E>	ホールの使用については、舞台・照明・音響の担当3名が必要に応じて、ついている。使用実績が年間約80回程度なので、委託は難しい。日生市民会館と効率の良い運営を引き続き検討していく。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	判定理由・課題認識

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成21年度の状況								
目標値	結果指標量①	20,000	結果指標量②	60,000	成果指標量	60,000		
状況	拡充		現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	ホールの運営については、日生市民会館との運営の調整をこれからも検討していく。							

総合評価		評価区分<A~E>
市民センターは昭和56年に建設し30年近く経ち老朽化が進んでいて、今後、計画的な改修を行う必要がある。また、ホールについては、日生市民会館と密に連絡調整を図り、使用を市民センターに集中させて、運営の効率化を図る。		C

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	ホールについては、これからも日生市民会館と密に連絡調整を図り、運営をしていく。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
有効性	ホール等の利用促進		平成22年度	ホール等貸館利用率の増加		